

大阪環状線西九条駅の高架下で文化交流イベント開催
 『大阪環状線 西九条駅 OK18番街』



アジアと日常が、
 高架下でつながる文化祭。

西日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：倉坂昇治）と、JR西日本不動産開発株式会社（代表取締役社長：藤原嘉人）は、2026年6月12日（金）から6月14日（日）の期間、大阪環状線西九条駅の高架下（OK18番街）にて、周遊型エリアイベント「Osaka Art & Design 2026」と連携して、地域を拠点に活動するクリエイターがキュレーションした文化交流イベント「大阪環状線 西九条駅 OK18番街」を開催します。

『大阪環状線 西九条駅 OK18番街』

大阪環状線は19駅それぞれが異なるまちの顔を持ち、大阪駅などの大規模拠点から地域の文化が残る街まで、多様な表情を一周約21kmの地上ループで結んでいます。この世界的にも稀有な構造は単なる交通手段にとどまらず、文化活動を連鎖させる都市資産として捉えられます。途中下車や高架下の活用により偶発的な出会いや地域との接続を生み、移動そのものを体験へと転換します。本イベントでは観光導線と地元生活導線が交差する西九条駅の高架下（OK18番街）を舞台に、此花エリアを拠点に活動するクリエイターが、「アジア」をテーマにキュレーションした企画展を開催。アジアと此花の魅力を交差させ、都市の文化的エコシステムを再定義します。

日 時：2026年6月12日（金）17:00-21:00、13日（土）11:00-21:00、14日（日）11:00-18:00

会 場：JR西九条駅高架下（OK18番街）

主 催：西日本旅客鉄道株式会社 / JR西日本不動産開発株式会社

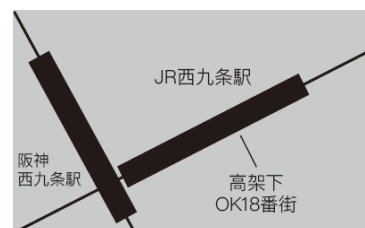
企 画：JR西日本コミュニケーションズ /

JR西日本SC開発株式会社 未来価値創造部

後 援：大阪市此花区役所

協 力：大阪アート＆デザイン2026

問合せ：株式会社ハレノヒ a_takagi@80nohi.com



※会場に専用駐車場はございません。
 公共交通機関をご利用ください。

『大阪環状線 西九条駅 OK18番街』

1：トークイベント「nongkrong OSAKA」 辺口芳典 ※6月12日（金）のみ

インドネシアのアート・コレクティブルアルンパが実践する、対話や語らいから文化を育む「ノンクロン」の思想を起点に、此花で活動が続けてきた詩人 辺口芳典 が、クリエイティブの担い手たちとともに地域の日常や文化的風景を浮かび上がらせる。



辺口芳典
(詩人)

① 「此花の魅力」

17:00-17:45

川添孝信 (WALL SHARE)
後藤哲也 (ASAHISONOMA)
高村治輝 (一般社団法人UMF)
辺口芳典 (詩人)

② 「アジアの魅力」

18:00-18:45

増井辰一郎 (Osaka Art & Design)
松村貴樹 (INSECTS)
杉田真理子 (FOR CITIES)
出口清史 (Nishi Nippon ARTrail)

③ 「此花とアジアを交差」

19:00-19:45

服部滋樹 (graf)
小島和人 (ロフトワーク)
杉田真理子 (FOR CITIES)
辺口芳典 (詩人)

2：映像作品「hope PLACE」 辺口芳典 / bushi / このはなのひと

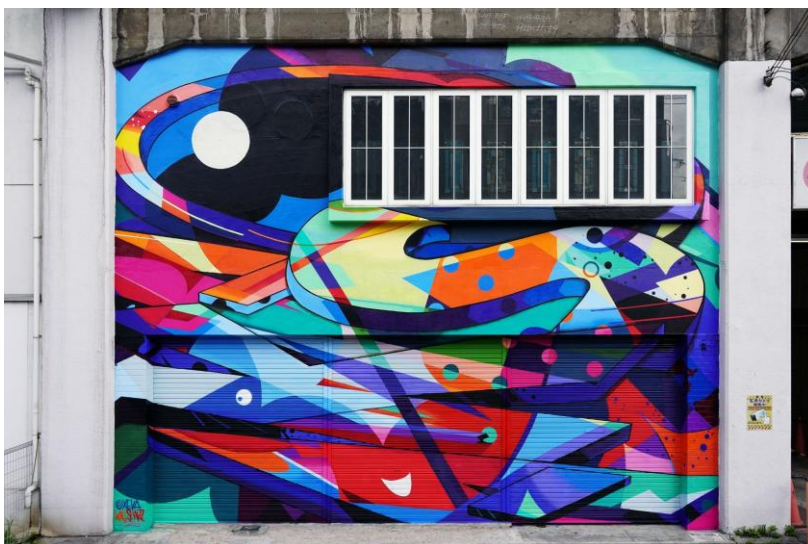
下町の豊かな表情と人々の営みを今も色濃く残しながら、近年はアートや新たな文化が芽吹く地域として注目を集める此花。USJやベイエリア開発、万博による変化を受けながらも、この町に暮らす人々の個性や包容力は変わらない。この町を深く知る人々とともに巡り、アーティストたちを惹きつける此花の文化的魅力を映し出す。

3：壁画展「MURAL TOWN KONOohana」 川添孝信

此花を拠点に国内外で活動するWALL SHAREが、アジアのアーティストによる作品展示やキッズアートを展開。ミューラル（壁画）を通して、高架下空間の新たな文化活用や地域とのコミュニケーションを実験的に生み出し、まちに新しい景観と交流を育む。



川添孝信
(WALL SHARE株式会社)



“Artwork by XEVA,”



“Artwork by Inkie,”



“Artwork by TWOONE,”

『大阪環状線 西九条駅 OK18番街』

4：デザイン展「Helicopter Records」ASAHISONOMA

此花のデザインギャラリー ASAHISONOMAを主宰する 後藤哲也 が、韓国インディシーンを代表する パク・ダハム のHelicopter Records のポスターやカセット展示に加え、アジアのグラフィックデザイン書籍を集めたライブラリーも展開。トークやグッズ販売を通して、都市と文化を横断する交流を生み出す。



ASAHISONOMA

5：交流拠点「グローヴ酒場」高村治輝

此花出身の音楽フェスプロデューサー/DJの高村治輝 が、OK18番街を舞台に、滞在と交流を生み出すコミュニティ「グローヴ酒場」を展開。地域資源やDJ、コミュニケーターを媒介に、地元住民と来訪者が自然に交わる、此花ならではの文化的な共創空間を創出する。



高村治輝
(一般社団法人UMF)

6：アジア映画 (Foggy)

インディペンデント映画の配給会社 Foggyが、注目のアジア映画の上映や、短編映画制作ワークショップを開催。映画体験を通して、新たな文化的風景と滞在価値を生み出す。

※ワークショップ詳細 <https://www.foggycinema.com/pages/shortfilmcamp>



7：文化コミュニティ (studioBAIKafe / シカク)

此花の文化とコミュニティを支える拠点として、元タバコ屋を改装したカフェ studioBAIKafe と独立系書店 シカク が、此花ならではの魅力を発信する。



studioBAIKafe



シカク

※全てのイベント内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

Osaka Art & Design 2026とは

大阪の街を巡りながら多彩なアートやデザインに触れる周遊型エリアイベント「Osaka Art & Design 2026」。第4回を迎える今年は「Infinitize ～ソウゾウを解き放つ～」をテーマに、5月27日(水)～6月23日(火)の4週間にわたって開催します。

Osaka Art & Design 2026について詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.osaka-artanddesign.com/>

